



2018年2月2日

各 位

会 社 名：富士製薬工業株式会社
代表者名：代表取締役社長 武政 栄治
(コード番号:4554 東証第一部)
問合せ先：取締役 常務執行役員
コーポレート本部長 上出 豊幸
T E L：03-3556-3344

非イオン性造影剤「オプチレイ®注」、環状型MRI用造影剤「マグネスコープ®静注」、リンパ系・子宮卵管造影剤「リピオドール®注」の販売に関する提携の終了について

富士製薬工業株式会社（本社：東京都千代田区、以下「富士製薬工業」）は、ゲルベ・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、以下「ゲルベ・ジャパン」）とのライセンス契約に基づき富士製薬工業が日本国内で販売しておりました下記の医療用医薬品につきまして、ライセンス契約の終了について本日合意に至り、下記の日付をもって富士製薬工業の販売が終了し、ゲルベ・ジャパンが販売することとなりましたので、お知らせいたします。

「オプチレイ®注」は、2013年12月に旧マリンクロットジャパン株式会社から富士製薬工業に販売移管され、2014年6月の製造販売承認の承継を経て、富士製薬工業が製造販売元として製造及び販売を行ってまいりました。また、「マグネスコープ®静注」及び「リピオドール®注」は、2015年10月より富士製薬工業に販売移管され、当該製品の販売を行ってまいりました。

その後、ゲルベ社（本社：フランスパリ）は、2015年11月にマリンクロットグループの造影剤事業を買収し世界的に造影剤事業の拡大を図ってまいりました。この度、日本国内においてもゲルベ・ジャパンによる自社販売の目処がたったことから、ゲルベ・ジャパンによる販売について両社間で協議をした結果、今回の合意に至りました。

下記の日時を境に当該製品の販売が富士製薬工業からゲルベ・ジャパンに移管されますが、両社協力して販売移管を滞りなく進めることといたします。

なお、「オプチレイ®注」の製造販売承認の移管時期については協議中ですが、当該製品の製造については、当面の間、富士製薬工業が実施する予定です。

富士製薬工業としては、当該ブランド製品の販売は終了することになりますが、これらの製品で培った医療機関との信頼関係を活かし、ジェネリック造影剤をはじめとする高品質の医薬品を引き続き安定的に供給することにより益々医療に貢献してまいります。

なお、本件の当期（2018年9月期）連結業績に与える影響はありません。

記

薬効分類名（一般名）	製品名	販売元変更日
非イオン性造影剤 （イオベルソール注射液）	オプチレイ®注	2019年1月1日
環状型 MRI 用造影剤 （ガドテル酸メグルミン注射液）	マグネスコープ®静注	2018年10月2日
リンパ系・子宮卵管造影剤 医薬品又は医療機器の調製用剤 （ヨード化ケン油脂肪酸エチルエステル注射液）	リピオドール®注	2018年10月2日

以上